

2025年度

松山市立小百合保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年3月2日（月）～3月12日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年3月13日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	ニチイの保育理念『おもいっきり遊ぶ。おもいっきり学ぶ。』のもと、一人一人の子どもが、日々の遊びや学び、人とかかわりの中で、自分を表現できているか、職員会やチーム会でも振り返りを行い、子どもにとって適切な保育が行えるよう、互いに理解共有をすることに努めた。
子どもの発達援助	年齢や発達の状況に応じて、人や物に積極的に関わる環境づくりを行い、子どもたちがわくわくしながら、「～してみたい」という意欲や気持ちを大切にし、主体的に安心して活動できるようにしている。今後も、子どもたちの好奇心を育て、積極的に学べる環境づくりに努めていきたい。
保護者に対する支援	行事や参観等、年間を通じて子どもの成長を感じる機会を作り、アンケート結果や、日々のコミュニケーションから得た保護者の意見や考えを保育に反映させた。今後も、保護者が安心して話したり、いつでも相談できる環境づくりに努めたい。
保育を支える組織的基盤	職員全員で、保育実践の丁寧な振り返りと、具体的な改善点の共有を行った。私たちの役割や、保育の中で大切にしていきたいことを改めて確認するとともに、振り返りの中で得た気づきを、保育の質の向上に向けた具体的な行動につなげていきたい。

総評
日々の丁寧な振り返りや気づきを、職員間で共有し、園全体で具体的な実行につなげ、今後も、一人一人の子どもが、保育園の生活の中で、保育目標である『すくすく育つ』『わくわく遊ぶ』『いきいきと過ごす』ことができるような保育環境づくりを続けていきたい。